令和５年度 第２回役員研修会　まとめ

令和５年度の第２回役員研修会でのグループ討議の様子をお伝えします。
担当の副理事長が設けたテーマ毎にグループ討議をしました。あらためて読むと参考になるアイデアも多くあります。是非、ご活用ください。

１　日　時：令和５年１２月１９日(火)　１３：３０～
２　会　場：神奈川県社会福祉センター　２０１、３０１～３０３研修室
３　研修の全体テーマ：持続可能な老人クラブ活動について考える
４　参加対象者：理事・監事・評議員・女性会議ブロック代表
５　内　容

①「か」グループ　鈴木　郁男　副理事長(南足柄市老連)
討議のテーマ「老人クラブ会長担い手二人体制の確立について」

老人クラブへの若手会員の加入が少なく会員の高齢化に歯止めがかからない。
会長は諸課題が山積し役職の任に堪えられず、また後継会長の担い手が見つからず解散やクラブ休止も増えている。そこで、会長職の負担を軽減するため、
会長の二人制による会の存続策を考える。

(グループ討議で出された主な意見)
○会長２人制は難しい。
・会長の仕事を２人では分けられない。
・どちらに相談したらよいか分からなくなる。
○副会長を２人にして、男女１名ずつにすると良いのではないか。
○会長の下に会長代行、その下に副会長を置いてはどうか。
○市町村の事務局や社会福祉協議会によって対応が異なるが、資料の作成などでとても助かる。

②「な」グループ　山田耕嗣　副理事長(藤沢市老連)
討議のテーマ「友愛チームの構成・役割」

(1)友愛チームのメンバー構成(民生員の参加)
(2)新型コロナウイルス感染症対策中の４年間で変わった活動
(3)これからの友愛チームの活動方法等の研究

(グループ討議で出された主な意見)

(1) 友愛チームのメンバー構成(民生員の参加)

○ 民生委員のOBが加入している老人クラブは多いので、友愛チーム員の候補として働きかけをしていくことは重要

(2) 新型コロナウイルス感染症対策中の4年間で変わった活動

○ 企業からの協賛にも影響があり資金的に苦しくなった。

○ 訪問活動の低下により、顔が見えなくなった。友愛活動の再構築が今後の課題。

(3) これからの友愛チームの活動方法等の研究

○ 老人クラブから子供会に声を掛けて、老人クラブと子ども会のコラボによるお祭りの企画を考えたら、子供の親、祖父母の参加も増え好評だった。(お祭りでおでん300食。ゆで卵の皮むきを子供にお願いした)

○ 地域包括センターとの積極的なコミュニケーションにより相談しやすい雰囲気が生まれている。地域の様々な団体との交流が必要。

○ 単位クラブと友愛チームは一体的なものと考えても良いのではないか。

○ 小さな町なので友愛チームというより、趣味で集まる会(同好会)に参加してもらうことで参加者の増員ができた。

○ ボッチャ、ＧＢ、ＧＧの活動を導入して入会者が増えた会もある。

③ 「が」グループ　藤塚捨雄　副理事長(座間市老連)

討議のテーマ「県老連・市町村老連」の調査活動、夢ジャーナルについて

(グループ討議で出された主な意見)

(1) 毎年実施の「市町村老人クラブ連合会実態調査報告書」について

○ 令和5年度の報告書はグラフなども入りよくなった。

(2) 単位クラブの求めている活動事例の調査・紹介をどう進めるか。

○ 単位クラブの役員までは配布され読まれるようにしたい。

○ １～２ページの短いものにして活用してはどうか。

○ ゆめジャーナルで紹介してはどうか。

(3) 「夢ジャーナル」発行の改善

○ 編集委員会では、発行部数拡大に向けてニチコミ、博報社と協議している。

○ 全員に届けられるようにしたい。

○ ジャーナル発行のそもそもの目的は何か。会員増強のために参考になれば。

④ 「わ」グループ　福地　事務局長（加藤副理事長は当日欠席の予定）

討議のテーマ「魅力あふれるゆめクラブ神奈川の再生に向けて」

作年度のテーマに引き続き、各クラブの会員が増え会の活動が活性化していくためのクラブ活動の魅力化に必要なこと、そのための市町村老連や県老連の役割などについて考え、魅力あふれるゆめクラブ神奈川再生特別委員会での議論に役立てる。

(グループ討議で出された主な意見)

（1）老人クラブは何のためにあるの？

・友達作り、居場所作り、語り合い。連帯感、助け合いながら元気に生きる。

（2）老人クラブへ入る人少ない理由は？

・若見え主義？

・70代でも働く人が増えた。そこで交流もできている。

・昔と比べて、情報が多く入り、趣味などでのサークル交流も盛んになった。

・若い人の参加が減り、高齢者だけで発想も固定化、人も固定化。

(3)老人クラブの活動を知ってもらう！

・老人クラブ活動を知らせる広報の努力が不足。市町村や自治会の協力を積極的に求める努力を。

（4）人の為に役立つことをしたい人も多いはず！

・千羽鶴の作成に会員以外の人も多く集まった。

・交通不便対策として、車の同乗などしている。

・高齢者の多く住む団地へ、農家が小トラックに野菜を積んで販売にくる。

(5)老人クラブの魅力化とは？

・それぞれのクラブで、皆なで考え話し合う機会を持って欲しい。

《　全体討議で出されたご意見　》

○ 2人会長制も習慣づけていけばできるかもしれない。会長の高齢化、長期化は問題。いつ倒れるか分からないのだから。企業の会長、社長制も2人会長制。

○“老人クラブの魅力化”が金科玉条ではない。趣味の多様化、働く年齢の上昇など様々な社会的な変化・要因があることを踏まえて考えていくべき。今だって、魅力ある活動をしているクラブも多くあるはず。